

(t



はじめに

船舶分野における脱炭素化への取り組みとして、IMO(国際海事機関)では、2050年までに2008年対比でGHG

D&T



IHI 原動機でも全周式推進装置(アジマスプロペラ)商標登録のペラがある。

タグボートは、港湾を管理する全長30m程度の小型船で、全長数百mもあるような大型船の港への離着岸をアシストするため押し引きし、時には沖合まで航路をエスコートする。そのため、タグボートには機敏な動きと大出力が求められ、それを可能にするのが

Z
稀

電気機器は配置自由度が高く、船内配置に制約が少ないため、船体形状の最適化を図ることもできる。電気推進システムの採用によって、推進システムのみならず、船舶全システムをとおしての高効率化が可能となる。

港湾の再エネ利用とオール電動化

タグボートはその運用形態上、全バッテリー化が適した船種であるといえる。しかし、コストの面でみると、現在のレベルでは全バッテリー化は高価であり、現実的とはいえない。バッテリー技術のさらなる進化をもって、初めて実現可能になると考える。

バッテリーへの給電方法としては、帰港した際に陸上設備からまかなうのが一般的だが、ここで太陽光発

IHI 技報をご覧頂きありがとうございます。
是非、関連する他の記事・論文もご一読ください。

IHI 技報 WEB サイト

Vol. 61 No. 3 特集 産業インフラの^柔蠕 囿^々 嚙 焔指向 嬰

00
